

日時<場所>	2023年12月19日(火) 16:00~16:40 <リモート開催 (Teams) >			
出席者 (計6名)	議長	鈴木 俊彦	従業員代表委員	長谷川 久美子
	産業医	平良 素生 (欠席)	従業員代表推薦委員	出口 玲子
	衛生管理者	藤田 恵子	従業員代表推薦委員	平柳 智子
		神田 由美		

1. 労働災害・時間外労働・休暇取得状況報告 (2023年11月度)

(1) 労働災害・交通災害状況

	労働災害(名)		交通災害(名)		
	休業	不休業	加害	自損	被害
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0

(2) 年次有給休暇取得と法定外労働時間(8時間/日、45時間/月)

	対象人数 (名)	有給休暇取得 平均日数(日)	法定外労働 平均時間(H)	8時間超 人数(名)	45時間超 人数(名)
4月	61	0.8	9.9	0	0
5月	62	1.8	12.2	0	0
6月	62	0.9	9.4	0	0
7月	60	0.5	9.9	0	0
8月	60	3.0	3.3	0	0
9月	60	1.3	10.8	0	0
10月	60	1.0	13.0	0	0
11月	61	1.4	12.8	0	0
平均	61	1.3	10.2	0	0

2. 令和5年度 年末年始無災害運動

- ・実施期間：2023年12月1日~2024年1月15日
- ・標語：「健康と安全で 幸せつなぐ年末年始」



年末年始の災害防止を徹底しよう!

年末年始は慣れやすく、生活のリズムも変わりやすい時期です。安全で健康に一年を締めくくり、新たな年をスタートできるように安全衛生活動のポイントを紹介します。

非常時作業時の災害を防ぐ!

大掃除などで一気に設備を停止した上で点検や修理を行う「非常時作業」では、「はさまれ・巻き込まれ」などの災害に特に注意が必要です。

事前準備

作業計画書の作成、作業の手順・方法の決定などを協力会社や安全衛生担当部門と関係者が事前に行った上で、リスクアセスメントも実施して調整しましょう。

作業開始前ミーティング

作業の進め方、合図の方法、禁止事項などを確認し、リスク情報を共有しましょう。必要な保護員の着用の確認も忘れず。



- 1 駆動スイッチ等に蓋蓋。複数人で作業する際は各作業者が自分のキーを持つ(ロックアウト)。
- 2 強い場所は補助照明などで適正な照度を保つ。
- 3 動力を遮断し(電源を切り)、機械設備を完全に停止させ、操作盤等の近く「点検のため操作禁止」などの表示をする。
- 4 チェンクリストなどを使って滑れなく点検。指差し/声で手順や安全の状況を確認する。

作業中に不測の事態が生じたら、作業を中断して作業指揮者に報告

合図は大きな声でハッキリと決められた方法で

作業が終了したら...

無効にした安全装置、取り外した安全カバーなどをともに戻して、作業場を整理・整備。

ヒヤリ/ハット情報などがあれば、作業指揮者に報告。

脚立作業のポイント



- 1 天板の上に乗らない。脚立にまたがらない。保護網や保護手袋を着用する。
- 2 踏さずに作業する際は、足を軽く開き、肩や膝を軽く天板に当てて体制を安定させる。つま先立ちも危険!
- 3 周囲に「作業中」などの注意喚起の表示をする。
- 4 脚立は原則として2m未満のものを使う。
- 5 脚立に滑り止めが付いた脚立を使用し、滑り止め金具を確実にロックする。

感染症予防対策の徹底

感染症拡大防止のための3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を避けながら、効果的に作業を進めることが大切。



転倒に注意!

慣れだしい年末年始は、転倒などにつながる不安定な行動をしがちです。また、雪や凍結した路面も注意が必要です。しっかりと対策をして、安全を確保しましょう。



- チェックしてみよう! 答えは...
- 道路や出入り口、階段などに物を設置していないか
 - 床、通路などの水、油、乾草はその都度取り除いているか
 - 安全に移動できるように、十分な明るさ(照明)が確保されているか
 - 台車などは、荷が崩れたりしないよう安全に使用しているか
 - 履物の滑り止めが磨けていないか
 - 段差のある場所や滑りやすい場所に、注意を促すステッカー(標識)を掲示しているか
 - 作業場の滑りやすさを滑りやすい状態になっていないか
 - 転倒などを予防するための教育を行っているか

冬季の安全運転

交通事故は年の後半に多くなる傾向にあり、特に12月に多発しています。一人ひとりが安全運転を心がけるとともに、毎日のミーティングなどでも繰り返し注意喚起しましょう。



「年末年始無災害運動」関連 中災防図書・用品



ご購入はコチラ ▶ <https://www.jisha.or.jp/order/index.php>
TEL 03-3452-6401 (出版事業部 受注専用)

3. “冬も水分摂取を”

出展資料：一般財団法人 京浜保健衛生協会

「水分摂取」というと、夏の熱中症予防をイメージする方も多いと思います。
夏は意識的に水分を摂っている方も、冬は十分でしょうか。
体は常に十分な水分が必要で、少しの不足が健康障害を引き起こすことも。
本件は冬の水分摂取についてです。

- 水の役割って・・・？
- 人間の体の半分以上 は水分です
- 冬の 水分摂取が大事な 理由
 - ・水分不足に気づきにくい
 - ・感染症対策になる
 - ・脳梗塞・心筋梗塞のリスクを低減する
 - ・飲酒による水分喪失の機会が増えやすい
- 日常で気をつけたい点
 - ・適度な湿度を保つ
 - ・飲酒は適量に
 - ・普段から脱水予防の意識を

・のどの渇きを感じる前にこまめに水を飲む習慣をつけ、健康に冬を乗り切りましょう！

4. 他場所事故・災害情報について（三菱ケミカル社） 2件紹介

【発生件数（2023年11月）】

労災 7件 ※うち1件（足首骨折）事例紹介

5. 来月度開催予定日時：2024年1月16日（火）16時～17時 リモート開催（Teams）